

天童

市議会だより



12月定例会

▲天童一中は「共に学び、友に学ぼう！」を学習スローガンとしています。友との関わりを通して、友の温かさや自分の良さ等に気づき、新たな自分探しを進めています。

- 2 一般質問 9人
- 6 予算特別委員会 12月補正予算
- 7 提出された議案とその結果
- 8 討論・意見書
- 10 議会報告・意見交換会の報告
- 12 市民の声・3月定例会の日程（予定）



インターネットで
議会中継

天童市議会 で 検索

<http://www.city.tendo.yamagata.jp>

市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、12月9日、10日の2日間の日程で、9人の議員が行いました。

産業振興対策をはじめ、人口減少対策、地域活動等について、市長や教育長等の見解を求めました。

産業振興

中小企業振興条例の制定を



水戸芳美議員

地域産業や

中小企業を支

援して、働く

場所がどんどん出来れば、若い男女が就職、結婚して子どもを産み育てられる。

また、市外から人が集まることから、人口減少に歯止めがかかり、企業誘致にもアピール出来る。そして、税収の増加、地域経済の活性化という好循環を生み出す。市長の考えは。

山本市長 中小企業は、生産

流通などの経済活動はもとより、地域社会に安定と活力をもたらし、地域の経済と雇用を支えるなど、市民の暮らし全般において重要な役割を果たしている。

人口減少についてはさまざまな要因があるが、産業振興についても重要な課題であると認識している。

国では、平成22年6月に中



▲企業立地が進む荒谷西工業団地

小企業支援の基本理念を定めた「中小企業憲章」を閣議決定し、それを受けて平成24年12月には「山形県中小企業振興条例」が施行された。

中小企業振興条例を制定し、中小企業の活動を支援していくことは、市全体の活性化につながるかと考えているので、今年度内に条例案を提案したい。

12月定例会

審議日程

平成26年度第7回市議会定例会（12月定例会）は、12月5日から19日までの15日間の会期で開かれました。

市長提出の人事議案2件、契約議案1件及び報告1件については、初日の本会議で採決が行われました。そのほか、予算議案8件、条例議案等12件及び請願2件については、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、12月19日の本会議で採決が行われました。

また、12月19日に委員会提出議案1件、議員提出議案2件が提出され採決が行われました。（採決結果は7・8ページに掲載してあります。）

月 日	内 容
12.5(金)	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など）
12.9(火) 12.10(水)	本会議（市政に対する一般質問）
12.11(木)	総務教育常任委員会（付託案件の審査） 環境福祉常任委員会（付託案件の審査）
12.12(金)	経済建設常任委員会（付託案件の審査）
12.15(月)	予算特別委員会（付託案件の審査）
12.16(火)	予算特別委員会（討論、表決）
12.19(金)	本会議（委員長報告、質疑、討論、表決など）

市営住宅

民間集合住宅の活用を



鈴木照一議員
市営住宅の維持費は決して安くはない。

減少が地域の課題となっている。対策の一環として市営住宅を整備してはどうか。

これまでのように、建て替えを続けていってよいのか。民間の賃貸集合住宅を、一定の条件を満たせば、市営住宅として活用できないか。また、市街地周辺の集落では、人口

山本市長 平成35年までを計画期間とする本市の「市営住宅等長寿命化計画」では、既存の施設について計画的な修繕等を行い、長寿命化を図ることとしている。今後10年間は、5団地、21棟、290戸

の現有施設について、定期点検と計画的な修繕等を行いながら、適正な施設の維持管理を図っていく。今から30年後に耐用年数を迎える施設の整備手法については、財政負担軽減の観点から民間資金の活用も考慮に入れながら、将来の検討課題として考えていく。また、設置箇所については、位置の選定基準に適合するとともに本市のまちづくりビジョンに即する必要がある。施設の整備手法と同様、将来の検討課題として考えていく。

人口減少

市の将来ビジョンは



伊藤護國議員
今年5月の日本創成会議の発表によれば、2040年には地方自治体の半数を超える896の市町村が消滅する可能性がある

とされている。天童市の現状と今後の対応策をどう考えるのか。特に人口減少対策につ

いての将来ビジョンをお聞きしたい。

山本市長 住民基本台帳の人口動態では、平成17年4月からの5カ年の人口は1062人の減少となっていたが、平成22年4月から平成26年4月までの人口は186人の減少となっており、日本創成会議が発表した減少よりも抑制さ

れている。また、平成23年度以降は、転出者の人数よりも転入者の人数が上回っているほか、合計特殊出生率もここ数年は回復傾向にある。こうした状況を踏まえ、まちの魅力を高めながら、若年層の生活安定を図るため、雇用の場の拡大や優良な宅地の供給、子育て支援等の施策を総合的に展開する必要があると考えている。今後関係機関との連携を深めながら、長期的かつ総合的な観点から人口減少対策に対応していきたい。

質問者と質問事項 (☆印は会派名)

★清新会

水戸芳美議員

* 廃棄物削減について

* 産業振興について

鈴木照一議員

* 市立公民館の活用について

* 市営住宅の整備について

* 天童のブランド戦略について

伊藤護國議員

* 天童市の将来ビジョンについて

★政和会

松田光也議員

* 本市の「ふるさと応援寄附」について

★市民クラブ

狩野佳和議員

* 運転免許証自主返納者に対する支援事業について

* ラ・フランスマラソンについて

* 天童市歯と口腔の健康づくりの推進に関する条例について

海鋒孝志議員

* 年末解散総選挙に関する市長の考えについて

* 来年度の予算編成に向けた主な施策について

* 人口減少社会到来を見据えた自治会運営に関する対応について

★日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

* 地域農業を守るために伊藤和子議員

* 自主防災会の育成について

★無会派

茂木孝雄議員

* 「天童市空き家等の適正管理に関する条例」の運用状況について

* 男女共同参画と女性登用について

* 天童市の中学校教育について

と税
ふるさと納

経済効果と関係団体との連携は



松田光也議員

天童市の「ふるさと応援寄附」の取

り組みは全国トップクラスの人気となっているが、農産物生産者や商工業者にどのような経済効果を与えているのか。また、平成27年度の取り組みについて、魅力ある特産品を

提供するための関係団体との連携と職員体制についてどう考えているのか。

山本市長 寄附金額に応じた特産品や将棋駒ストラップ、配送費用も含め、約7割相当の費用を市が負担しており、それだけの経済効果は確実にあったものと認識している。また、降ひよう被害にあった

りんごトラ・フランスを特産品とすることで、農産物生産者に対する経済効果も高いものがあつたと感じている。平成27年度は、さらなる魅力ある特産品を取りそろえるため、天童商工会議所等を通して、各事業所に新たな特産品の検討をお願いしている。

また、来年度以降は、受付部門と寄附採納部門の一元化を図り、業務の効率化を推進するとともに、臨時職員を継続して配置しながら職員体制の充実について検討していく。



海鋒孝志議員

人口問題研究所や日本創成会議の人口

推計によると、天童市の人口も大きく減少し、自治会運営と分館活動にも大きな影響が出ると考える。

高齢・単身世帯の増加などで、活動の停滞や地域の活動拠点である公民館分館の改築、維持修繕にも支障がはじまっている。支援策等の考え方を伺いたい。

山本市長 自治組織に対しては、人と人とのつながりを深めながら、地縁的な協働による多様な地域づくりを担う人材の能力向上を支援していく。また、多様な学習ニーズに対応する情報の提供に努めていきたい。

水戸部教育長 分館の新築、改築、修繕、備品購入等に対しては、その事業費の4分の1から2分の1以内の範囲で

補助金を交付している。

また、分館の活動に対する支援については、分館が独自に実施する地域的な共同活動に対して年額3万円以内、市立公民館が主催する研修の参加費に対して年額1万円以内の補助金を交付している。

さらに、平成24年度から耐震診断や耐震改修の費用を新たに補助対象事業に加えるとともに、平成25年度から新築や改築に対する補助金の上限を800万円から1000万円に増額している。

今後とも、社会経済情勢の変化に対応し、施設の整備や活動に対する支援を充実していきたい。

歯と口腔

健康づくりの推進に新たな施策は



狩野佳和議員

9月定例会で歯と口腔の健康づくりの

推進に関する条例が施行された。健康寿命を延ばすためにも自分の歯を多く残すことが重要である。乳幼児期のフッ素塗布は、むし歯予防の有効手段なので、就学前まで複数

回に拡充すべきでは。

また、歯周病の早期発見のために健康診断に歯科検診も取り入れ助成すべきでは。

山本市長 乳幼児期におけるフッ素塗布については、1歳6カ月児健診での塗布を実施しているほか、市内の歯科医院で利用できる無料のフッ素塗布の補助券を交付し、合計

2回の機会を設けている。実施回数については、利用率等を含め今後検証していきたい。また、定期検診への助成については、毎年、40歳、50歳、60歳、70歳になる方に、歯周疾患検診の助成券を送付し、定期的な歯科検診への助成を行っている。さらに、75歳になる方を対象に、後期高齢者医療で歯周疾患検診事業を無料で行っている。今後とも関係機関と連携を図りながら、より一層歯と口腔の健康づくりを推進していく。



▲大切にしたい伝統行事

過剰米

米価暴落による 影響と対応は



石垣昭一議員

を求めるものである。

生産者米価
の大暴落で、
米作りが続け

本市農業への影響と対応に
ついて伺いたい。
山本市長 米価の下落は、本

られないと悲痛な声がある。
県は米概算金の下落で、
152億円の減収と発表した。
過剰米の市場隔離で米価の回
復を図るなど、米生産の需要
と流通の安定供給責任の強化

市の農業経営、特に地域農業
の中心として活躍している大
規模経営体への影響は甚大で
あると受け止めており、今後
の規模拡大の停滞や営農意欲
の減退につながる懸念

している。

米価下落に関しては、県と
の十分な連携を図りながら、
農業経営の基盤となる稲作経
営の安定と体質強化が図られ
るよう、政府主導による過剰
米の主食用米市場からの隔離
対策を早急に講じることや、
需給バランスの崩れにより価
格低迷が生じることのないよ
う、より精度の高い需給見通
しを策定することなどについ
て、県市長会を通して国に強
く要望しており、今後も継続
していく考えである。

女性登用率

男女共同参画は 子育ての土台



茂木孝雄議員

市職員の女性比率及び女性

少子高齢
化・人口減少
が進む日本・

職員の管理職登用比率の目標
は定めていないが、職務能力
と勤務実績に応じて、女性職
員の積極的な登用を図ってい
く。

天童。活力を維持し、子育て
支援日本一を達成するために
は、男女共同参画の推進と女
性の活躍の場を広げ、能力を
発揮してもらうことが不可欠
である。

男女が仕事を行うパートナ
ーとして互いに認め合い、育
児休業や介護休暇の取得など、
女性にも働きやすい職場環境
づくりを進めていく。

男女共同 参画社会

消防署への女性署員配置の 考えは



伊藤和子議員

女性署員の必要性、今後の配

男女雇用機
会均等法の整
備、男女共同

置について市長の考えを聞き
たい。
山本市長 全国における女性

参画社会が叫ばれて久しい。
公務員の女性の採用率は30
割を超えているが、天童の消
防署には女性署員がいない。
救急活動や予防・講習などで
も、女性が必要とされるが、

消防職員の採用状況は、約6
割の消防本部で採用しており、
全職員数に対する比率は2・
2割となっている。県内では、
12消防本部のうち、半数の消
防本部で女性職員を採用して

おり、全職員数に対する比率
は1・2割となっている。
消防活動の中で、特に女性
のソフト面を活かした市民に
対する防火・防災・救命講習
や指導、さらには、防火対象
物への立入検査などの活動は、
有効なものと考えており、女
性職員の採用も必要であると
認識している。
採用に向けては、女性用の
仮眠室、シャワー室等の整備
が必要となるので、今後、財
政事情を考慮しながら検討し
ていきたい。

平成28年度目標を4割とし
た審議会等の女性比率と、女
性職員の管理職登用比率の実
態はどうか。市長の熱意と施
策を聞きたい。
山本市長 平成25年度末にお
ける審議会等の女性委員比率
は、前年度より1・4割増加
の24・3割である。
また、本市職員の行政職全
体に占める女性職員の割合は
平成26年4月現在28・4割と
なっている。このうち、女性
管理職は8・8割であり、県
内市町村における平均6・3
割を上回っている状況である。



▲女性の活躍についてともに考えます



予算特別委員会

平成26年度一般会計補正予算

2億513万1000円を
増額補正

一般会計2億513万1000円、介護保険特別会計7177万1000円を追加する補正予算のほか、6会計の補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。審査の主なものは次のとおりです。

ふるさと納税

委員 今回の補正で2億円の歳入を見込み合計4億円となるが、その使い道は。

財政課長 ふるさと納税の推進に要する経費として3億円、その他寄附メニューに応じた

事業として、児童・生徒の医療給付に要する経費に1800万円、農業振興に1100万円、天童高原施設の管理運営に1100万円、将棋のまちの振興として、まつりの開催等に1300万円、地域づくり委員会活動に200万円、プロスポーツ支援に200万円、森林病害虫の防除に300万円、一般財源に4000万円を充当する。

委員 ふるさと納税寄附に要する経費1億5789万5000円の内容は。

市長公室長 市特産品の返礼

品購入費用をはじめ、パンフレット、郵便振替用紙、寄附証明書及び封筒の印刷代、返礼品の郵送費用が主なものである。

調査委員会調査員報酬

委員 調査員報酬48万円の内容は。

調査委員会室長 中学生徒の死亡事案の調査に係る収集した資料の分析及び関係者への聞き取り等の業務を行う調査員の報酬で、4名を予定しており、1人当たりの調査活動は6回を予定している。

要配慮者避難支援計画

委員 防災対策に要する経費のうち、印刷製本費及び通信運搬費合わせて164万8000円の内容は。

危機管理室長 避難行動要支

援者に名簿情報提供の同意を求めため、対象者に制度の趣旨説明と同意書を送付するための経費である。対象者となる一人暮らしの高齢者または高齢者のみの世帯の方、介護保険における要介護認定3～5の方、障がい者など約7600人に対し1月下旬に書類を送付する予定である。

クアオルト事業

委員 三市町温泉地健康づくり推進協議会負担金100万円の具体的内容は。



▲クアの道 舞鶴山コース

商工観光課長 村山地域7市7町で構成される「めでた観光圏」の中で、クアの道事業を実施している本市と上山市、西川町が連携し、県の助成を受けて当該事業のPR、普及拡大を図り、現行事業をレベルアップしていくものである。

一般会計補正予算(第6号)のあらまし

補正額 2億 513万1000円
予算総額 244億3859万2000円

◆主な内容

(単位：千円)

ふるさと納税の推進に要する経費	157,895
住民税システム改修業務委託料	4,212
地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金	5,404
介護保険特別会計繰出金	18,844
生活保護等の事務に要する経費	29,659
天童高原施設整備工事費	△16,462
公共下水道事業会計負担金	△21,735

提出された議案とその結果

第6回臨時会（10月27日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
議第35号	天童市副市長の選任について	同意 (全会一致)

第7回定例会（12月5日～12月19日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第9号	平成26年度天童市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認を求めることについて	承認 (全会一致)
議第36号	平成26年度天童市一般会計補正予算(第6号)	原案可決 (全会一致)
議第37号	平成26年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第38号	平成26年度天童市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第39号	平成26年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第40号	平成26年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第41号	平成26年度天童市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第42号	平成26年度天童市民病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第43号	平成26年度天童市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第44号	天童市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第45号	天童市福祉事務所設置条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第46号	天童市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の設定について	原案可決 (全会一致)
議第47号	天童市地域包括支援センターの運営及び職員に関する基準を定める条例の設定について	原案可決 (全会一致)
議第48号	天童市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	結果
議第49号	天童市スポーツセンター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第50号	天童市わらべ館の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第51号	天童市子育て未来館「げんキッズ」の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第52号	天童インター産業団地の分譲地の処分について	原案可決 (全会一致)
議第53号	天童インターチェンジ周辺工業団地整備事業用地の取得について	原案可決 (全会一致)
議第54号	市道の認定及び廃止について	原案可決 (全会一致)
議第55号	東南村山地区視聴覚教育協議会の廃止について	原案可決 (全会一致)
議第56号	天童市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	同意 (全会一致)
議第57号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意 (全会一致)
議第58号	天童高原地域交流センター整備建築主体工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)

〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第5号	米の需給安定対策に関する意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

〈議員提出議案〉

議案番号	件名	結果
議員提出議案第1号	集団的自衛権行使の閣議決定の撤回を求める意見書の提出について	原案可決 (賛成多数)
議員提出議案第2号	農協改革に関する意見書の提出について	原案可決 (賛成多数)

〈その他〉

件名	結果
議員の派遣について	許可 (全会一致)
発言取り消しについて	許可 (全会一致)

議案等に対する議員の賛否一覧表（賛否が分かれたもの。これ以外は全会一致。）

議案	議席番号																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
氏名	武田正二	水戸芳美	遠藤敬知	茂木孝雄	村山俊雄	狩野佳和	松田光也	矢萩武昭	山口桂子	海鋒孝志	木村竹虎	赤塚幸一郎	結城義巳	後藤和信	山崎諭	石垣昭一	鈴木照一	伊藤護國	水戸保	浅井健一	伊藤和子	小松善雄
会派	清	清	清	無	清	市	政	清	清	市	政	市	政	政	清	共	清	清	清	政	共	無
請陳第10号 農協改革に関する件について	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議員提出議案第1号 集団的自衛権行使の閣議決定の撤回を求める意見書の提出について	○	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	議
議員提出議案第2号 農協改革に関する意見書の提出について	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※ ○=賛成、×=反対、議=議長（議長は採決に加わらない）

※ 会派：清=清新会、政=政和会、市=市民クラブ、共=日本共産党天童市議団、無=会派に属さない議員

討論

12月19日の本会議において、請願1件について討論が行われました。

採決の結果、賛成多数で採択となりました。

▼請陳第10号国の農協改革に関する件について

〈賛成〉水戸 保議員

農協は、正組合員である農業者の営農と生活を支える総合事業を展開し、地域住民が必要とするサービスを提供している。

自己改革では、農業者の職能・地域両組合の性格を併せ持つ「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」とし、持続可能な農業と豊かな地域社会の実現を目指す。

ゆえに、農業者の組合として農協の重要性は増しており、国は自己改革を尊重し、真の農業者のための農協改革を進めるべきである。

意見書の提出

12月19日に経済建設常任委員会及び議員から提出された意見書提出議案3件は、原案のとおり可決されました。意見書は直ちに関係機関に送付しました。

▼米の需給安定対策に関する意見書（要約）

米の需給は緩和基調で推移しており、平成26年産米は出回り時からかつてない水準にまで価格が下落し、生産現場では大きな不安と混乱が広がっている。

生産者が将来にわたって安定的な稲作経営を展望でき、夢と希望をもって米づくりに取り組めるよう次のことを強く要望する。

- 1 過剰米及び米価下落の緊急対策
- 2 米の需給と価格の安定対策
- 3 米価変動に対応した経営安定対策

提出先Ⅱ内閣総理大臣、財務大臣、外務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済

産業大臣、経済再生担当大臣

▼集团的自衛権行使の閣議決定の撤回を求める意見書

政府は、平成26年7月1日、集团的自衛権行使容認の閣議決定を行った。

これまで政府は、集团的自衛権について「わが憲法の下で武力行使を行うことが許されるのは、わが国に対する急迫、不正の侵略に対する場合に限られる」、「他国に加えられた武力攻撃を阻止することを内容とする集团的自衛権の行使は、憲法上許されない」と明記している。

集团的自衛権については、国民にとっては重要な変更であり、広く国民を含めた議論が必要である。

よって、集团的自衛権行使を容認したこの度の閣議決定の撤回を求める。

提出先Ⅱ内閣総理大臣

▼農協改革に関する意見書（要約）

政府は、本年6月改訂の「農林水産業・地域の活力創造プラン」において、農業の成長

産業化に向けた農協改革の推進を決定し、次期通常国会への農協改革にかかる関連法案を提出すべく、改革の具体化に向けた検討を行っている

が、JAグループは、自主・自立の協同組合であることを明確にし、組合員の意思に基づく自己改革に取り組むこととしている。

農協改革にかかる法案づくり等を進めるにあたっては、JAグループの自己改革を踏まえ、農家組合員の所得向上と地域の活性化につながるよ

う、次の事項を反映させることを強く要望する。

- 1 事業目的の見直しは協同組合の基本的性格を維持すること。
 - 2 准組合員の利用制限は行わないこと。
 - 3 一方的な事業方式やガバナンス制度、法人形態の転換等は強制しないこと。
 - 4 新たな中央会を、農業協同組合法上に位置づけること。
- 提出先Ⅱ内閣総理大臣、農林水産大臣

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は2件で、所管常任委員会で審査したあと、本会議で採決が行われました。結果は次のようになりました。

件名	提出者	託付委員会	結果
農協改革に関する件について	天童市農業協同組合代表理事組合長 結城 齊 他1名	経済建設	採 択 (賛成多数)
米の需要安定対策に関する件について	天童市農業協同組合代表理事組合長 結城 齊 他1名	経済建設	採 択 (全会一致)

議員の賛否は7ページに掲載しています。

第6回臨時会

平成26年度第6回市議会臨時会が10月27日に開催されました。

人事案件1件が審議され、全会一致で同意しました。

▼議第35号 天童市副市長の選任について

前副市長の退任に伴い、新関茂氏（久野本）を副市長に選任するもの。

東根市外二市一町共立衛生処理組合

各市町の負担金が確定

平成26年11月25日に組合議会が開催され、平成26年度の各市町の負担金が確定しました。

負担金は、均等割、施設規模割、し尿処理量割（平成25年度実績）、ごみ処理総量割（平成25年度実績）、証紙事業（ごみ袋代等）などで決定します。

平成26年度構成市町負担金確定額

(単位：千円、%)

市町名	H26年度	H25年度	前年比
天童市	326,563	293,516	111.3
東根市	278,044	230,049	120.9
村山市	140,770	122,125	115.3
河北町	120,191	101,941	117.9
合計	865,568	747,631	115.8

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員の伊藤栄子氏（山口）が平成27年3月31日をもって任期満了となることに伴い、再び同氏を推薦することに同意しました。

情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱に同意

情報公開・個人情報保護審査会委員が平成26年12月31日をもって任期満了となることに伴い、中島宏氏（山形市）と山川晴美氏（東本町三丁目）の再任及び半田稔氏（山形市）を新たに委嘱することに同意しました。

平成27年4月1日から ごみ処理手数料及びし尿処理手数料が改定

直接搬入によるごみ処理手数料が、事業者（受益者）負担の原則から、現行10キロごと150円から180円に、し尿処理手数料については、現行36リットル（1本）ごと470円から500円に改定されます。

議会のうごき

■10月

- 7日～8日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会・執行部合同研修
- 9日～10日 東北市議会議長会事務局長会議（局長/登米市）
- 12日 第38回全国育樹祭（議長/山形県遊学の森）
- 15日 議員研修会、市長要請経済建設常任委員会（断水リスク軽減対策について外）
- 16日 市長要請環境福祉常任委員会（市一般廃棄物処理基本計画の案について外）
- 17日 広報委員会
- 20日 市長要請各派代表者会
- 21日 市民クラブ、茂木議員研修会参加（東京）
- 21日～22日 第61回東北市議会議長会事務局職員研修会（三沢市）
- 22日～24日 清新会先進地視察（高知県馬路村、香川県宇多津町、岡山県総社市）
- 27日 議会運営委員会、第6回市議会臨時会、全員協議会（議会報告会について）
- 29日 山形県市議会議長会事務局長会議（局長/山形市）

■11月

- 4日 県・市町村行政懇談会（議長・局長/山形県庁）
- 4日～5日 政和会行政視察（相模原市、国分寺市）
- 5日 全国市議会議長会第97回評議員会（議長・局長/東京）
- 7日 山形県市議会議長会議会報研修会（広報委員/寒河江市）
- 10日～11日 ラ・フランドストップセールス（議長・市長/大阪）
- 11日～13日 議会報告・意見交換会（市内12会場）
- 12日 議会運営委員会
- 13日 市長要請総務教育常任委員会（教育委員会制度の改革外）

- 14日 市長要請各派代表者会
- 17日～18日 山形県市議会議長会定期総会（正副議長・局長/酒田市）
- 18日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会、市長要請環境福祉常任委員会（指定介護予防支援等の基準について外）
- 25日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会定例会
- 26日 山形県市議会議長会県知事及び県議会議長への実行運動（議長・局長/山形県庁）
- 28日 議会運営委員会

■12月

- 5日～19日 第7回市議会定例会
- 5日 広報委員会
- 10日 各派会長会
- 11日 市長要請総務教育常任委員会（第1回天童市立中学校に通う生徒の死亡事案に関する調査委員会会議概要について）、市長要請環境福祉常任委員会（予約制乗合タクシー運行事業プロポーザル審査結果について）
- 16日 市長要請環境福祉常任委員会（介護施設整備の公募について）、経済建設常任委員会所管事務調査（八幡山配水池現地視察）
- 18日 議会運営委員会
- 19日 広報委員会
- 25日 広報委員会

■1月

- 14日 市長要請総務教育常任委員会（学校給食費の改定について外）
- 19日 広報委員会

議会報告・意見交換会

5回目となる議会報告・意見交換会を、11月11日から13日までの3日間の日程で市内12カ所の市立公民館で開催し、184名の参加者がありました。参加していただきました市民の皆様大変ありがとうございました。

各会場で出されました議会・議員に対するご意見やご要望等は、議会運営委員会で議会としての対応を協議し、今後の「議会だより」や、議会報告・意見交換会でその対応をお知らせします。

また、市政に対するご意見・ご要望については、市長等に文書で送付するとともに、市民の皆様のご貴重な声と受け止め、議会における政策立案や政策提言につなげていきたいと考えております。

なお、各会場の報告書（簡易な会議録）については、当該市立公民館に送付してあります。また、ホームページからは全ての報告書がご覧いただけます。

天童中部・寺津・山口

担当議員

伊藤和子、鈴木照一、木村竹虎、海鋒孝志、山口桂子、茂木孝雄

9月定例会の請願審査・採決について、意見が相次いだ。「議会改革したと言いが、議員改革がなっていない」「傍聴している人がわかる進行を」など、厳しい声もあった。

中学生徒死亡事案の調査委員会の進行状況や大津市視察から何を学ぶのか。将来の人口減少、婚活、農地の白抜き見直しなど、地域



の将来を心配した問題提起が多く出され、もっと本音で語り合える場にして欲しいとの要求もあった。

天童南部・津山・荒谷

担当議員

水戸保、石垣昭一、後藤和信、赤塚幸一郎、武田正二

2会場で参加者が5、6人で、「少なくとも申し訳ない」という声や「参加者を増やす方策を考えたら」との助言があり、和気あいあいの中で話し合うことができた。また、話題性のあるテーマを掲げて意見交換をすれば、話しやすく、次に繋がるのではないかとという貴重な意見もあった。

別の会場では9月定例会



の議案に対する賛否に関する考えを求められるなど、活発な意見交換となり、充実した報告会だった。

高掬・長岡・干布

担当議員

淺井健一、矢萩武昭、松田光也、村山俊雄、水戸芳美

5回目の開催となり、地区によって参加人数に差があった。また、「まちづくり懇談会」が翌日という地区もあり、開催日を調整する必要を感じた。

要望がほとんどであったが、河川の支障木、忠魂碑の補修、ごみの回収、通学路、空き家、人口減少等の各問題や、災害時の安否確認、ラ・フランスマラソンや将



棋についての盛り上げなど様々な話題が挙げられた。今後、参加者を集めるための対応を考えたい。

天童北部・成生・蔵増

担当議員

伊藤護國、山崎諭、結城義巳、狩野佳和、遠藤敬知

いずれの地区も20人前後の参加者であった。市民に議会の動きや議員の考えを知っていただき、市民の代弁者としてより良い議会になるために開催しているのもっと多くの方に参加していただき、日頃思っていることを率直に出してほしいと強く感じた。

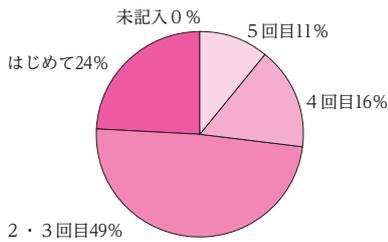
参加者からは、市政や議会に対して厳しい意見も出



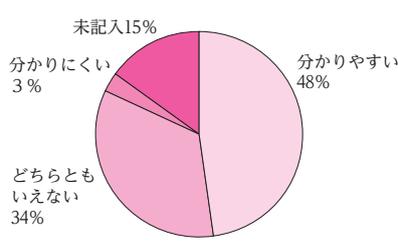
されたが、「自分の住んでいるまちだ」という熱い思いを感じ取れた。

アンケートの結果

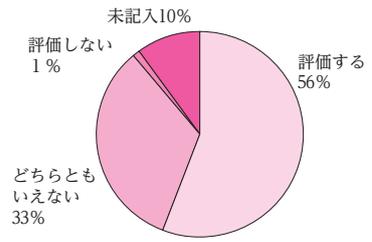
【何回目の参加ですか？】



【説明は分かりやすかったですか？】



【開催を評価しますか？】



アンケート回収

市 内															市 外	未 記 入	合 計 A	参 加 人 数 B	(回収率%) A/B
天童南部	天童中部	天童北部	成 生	蔵 増	寺 津	津 山	山 口	田 麦 野	高 掬	長 岡	千 布	荒 谷	未 記 入	計					
3	10	10	12	13	13	18	13	1	45	2	5	5	7	157	0	0	157	184	85.3

※参加者数は議員の報告書より

傍聴席をリニューアル!

議場の傍聴席の改修工事を行いました。これまでは2階席のみでしたが、新たに1階にも傍聴席を設け、スロープを設置するなどバリアフリー化しました。

皆さんお気軽にお出てください。



1階にも傍聴席を設けました。



1階席へのスロープ



車椅子用スペースを配置しています。

市民の声

12月の市議会定例会の傍聴に行ったとき、初めて1階の傍聴席に案内されました。今までは2階の高い席から覗き込むような感じでしたが、1階席は議員のすぐ後ろで、息遣いも感じられる位置でした。また議場に議員の方々が入れられるとき、誰が傍聴席に来ているのかがわかり、挨拶も交わすことができるので、議会に参加しているような臨場感がありました。この改修によって、議員の質問にもより迫力が生まれ、行政側の答弁にもより真剣さが加わり、相乗効果が期待されるのではないかと考えています。

市議会での討議内容は市議会だよりで知ることができ、文面だけでは型

議会に近づいた傍聴席

東海林幸吉(65歳・成生)

通りの質疑にしか感じられません。またインターネットで中継していますが、じっと一人で見ているのも苦痛なものです。私たちが選んだ議員がどのような観点で質問をし、それに対してどのように答弁されるのか、生の声を、ぜひ傍聴席に足を運んで聞いてもらいたいものです。残念ながら、傍聴席にはまだまだ空席がみられます。

今回私が聞いたのは「ふるさと応援寄附」に対する一般質問でした。今年は大幅に増加し、3億円を超えたとのこと、その8割近くが返礼の特産品に使われていました。金額が大きいだけに、その選定方法が公平か、一部の人のみか恩恵を受けているのかなどが質問されていました。うまく運用していたと期待しています。

請願について

市民が議会に対し、地方行政に対する意見や要望を申し出る制度で、国民の基本的権利のひとつとされています。請願を提出される際は、1名以上の紹介議員が必要です。

請願はいつでも議会事務局で受け付けていますが、定例会招集日のおよそ9日前までに受け付けしたものは、その定例会で審査されます。

3月定例会の日程(予定)

- 2月27日(金) 本会議(初日)
- 3月2日(月) 予算特別委員会
- 3日(火) 本会議(補正予算審議)
- 4日(水) 本会議(一般質問)
- 5日(木) 本会議(一般質問)
- 6日(金) 常任委員会
- 9日(月) 常任委員会
- 10日(火) 常任委員会
- 11日(水) 予算特別委員会
- 12日(木) 予算特別委員会
- 13日(金) 予算特別委員会
- 17日(火) 予算特別委員会
- 18日(水) 予算特別委員会
- 20日(金) 本会議(最終日)

※請願の締め切りは、2月19日(木)正午までの予定です。

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

インターネットで議会中継

天童市議会では、本会議をインターネットで生中継しています。また、その約1週間後からは録画でもご覧いただけます。

市議会議員の紹介、平成17年度からの議会だより、平成13年以降の定例会・臨時会の会議録などもホームページから確認できます。

編集後記

●今冬は大雪の時期が早く、12月には爆弾低気圧も発生し、全国各地で豪雪に悩まされました。1月は例年通りの降雪のよう、2月もこのままであってほしいと願います。

●市役所庁舎の免震工事のため、市民の皆様には大変ご不便をおかけしております。5月末完了の予定です。今暫くお待ちください。

●同時に進めていました本会議場のバリアフリー化が完成し、12月定例会から使われています。

●車椅子でも入場できるようにになりましたので、どうぞ新しい本会議場に傍聴にいらしてください。

《広報委員会》

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 武田 正二 |
| 副委員長 | 水戸 芳美 |
| 委員 | 伊藤 和子 |
| 〃 | 後藤 和信 |
| 〃 | 山口 桂子 |
| 〃 | 狩野 佳和 |

